

会 議 録

会議名	令和5年度第2回小山地区まちづくり会議			
事務局 (担当課)	中央区役所中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)			
開催日時	令和5年7月4日(火) 19時00分～20時15分			
開催場所	小山公民館 大会議室			
出席者	委員	21人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	3人(中央6地区まちづくりセンター所長ほか2人)		
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数 0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議 題</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 地域活性化事業交付金事業について</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 地区まちづくりを考える懇談会の開催日程について</p> <p style="margin-left: 20px;">(3) 令和5年度小山地区まちづくり会議の方向性について</p> <p style="margin-left: 20px;">(4) その他</p> <p>4 閉 会</p>			

議 事 録

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、△は申請団体代表者の発言、●は役員の発言、▲は事務局の発言。)

1 開 会

2 あいさつ

入谷会長のあいさつにより開会した。

3 議 題

(1) 地域活性化事業交付金事業について

今年度2年目の継続事業として申請がされた「小山地域の人と人をつなげるプロジェクト」について、申請団体の代表者から、事業の企画発案に至った背景や実施内容などを含めて申請内容全般について説明がされた。

申請団体名：小山の地域をつなげる会

事業名：小山地域の人と人をつなげるプロジェクト

事業内容：小山地域の各種団体との協力・連携による様々な活動を通して、地域住民同士のつながりを深め、より安心して安全なまちづくり活動を行う。

<主な意見・質疑等>

○年間スケジュールを公表した方が、参加者も予定が立てやすく参加しやすい。

⇒△会場は主に小山公民館を利用しているが、利用申込後の抽選に外れてしまうことがあり、年間スケジュールを公表することは難しい。そのため、自治会館を貸し出していただけると自治会があれば、ご協力願いたい。

○団体の構成員は何名か。

⇒△10名である。

○昨年度に実施した事業について、参加人数が少ないように思える。

⇒△利用申込後の抽選結果発表日から事業実施日までの期間が短いことから、広く周知ができず、対応に苦慮している。また、公民館事業と日程が重複してしまった事業については、特に参加人数が少ない。

○すすきの自治会が所有している自治会館は貸し出しが可能であるため、相談していただければと思う。

○地域情報紙での周知のみならず、予算を増額して独自にチラシを作成し、自治会へ回覧するなどといった方法もあるのではないか。

○多世代交流事業とのことだが、事業内容によって対象者は変わるのか。もしくは、全ての事業が子どもから高齢者まで対象なのか。

⇒全ての事業について、子どもから高齢者までを対象としている。

○各自治会で実施している夏祭り等のイベントにおいて、事業内容を周知するのも良い。

○子ども会に入っていない子どもも多いことから、自治会のみならず、小学校にもチラシを配布してほしい。

<結果>

実施すべき事業である。

(2) 地区まちづくりを考える懇談会の開催日程について

初めに、事務局から資料に沿って、令和5年度地区まちづくりを考える懇談会の概要について説明を行った。今年度の小山地区における開催の可否について諮り、開催するとの結果となった。

次に、入谷会長から資料に沿って、開催希望日程が提案されたとともに、事務局から市へ提出が必要となるテーマシートの決定手順等について説明を行った。テーマシートの最終決定については、役員に一任することとなった。

その他、本件について、委員からの意見は特になく承認された。

(3) 令和5年度小山地区まちづくり会議の方向性について

入谷会長から資料に沿って、役員で検討した令和5年度小山地区まちづくり会議の方向性(案)について説明を行った。主な方向性は次のとおり。

・前回のまちづくり会議において配布した【「相模原駅北口地区土地利用計画の方向性について」にかかるアンケート】の結果、ケース3を選択した委員が最も多かったことから、ケース3をベースとし、他ケース等の良いところを取り入れた「ケース小山」を検討する。

・「ケース小山」を小山地区まちづくりを考える懇談会で発表し、市へ対して意見具申する。

<主な意見・質疑等>

○相模原駅周辺のインフラ整備がされていない前提での議論は、実現を不可能にする可能性が高いと思われる。関内駅やみなとみらい地区のまちづくりにおいてもインフラ整備が先行して行われていた。JR相模原駅の南口と北口のアクセスも悪く、小山地区内にパチンコ店が1店舗増えただけでも大渋滞が発生しているような状況であることから、インフラ整備も視野に入れて議論し、市へ提案した方が良い。また、小山地区としての意見をまとめるのであれば、都市デザイナーなどの専門家を招いて議論しても良いのではないかと。

⇒●東京大学教授などの有識者を構成員とした相模原駅北口地区土地利用計画検討会議(以下、「検討会議」という。)が昨年度に設置された。検討会議では、インフラ整備をはじめ、様々な分野について検討されている。検討会議で絞り込まれた3つのケースをどのように活かしていくべきか、我々の意見が求められていると思

っている。そのため、今年度のまちづくり会議においては「ケース小山」を検討し、引き続き市へ提案していきたい。今年2月に開催された検討会議の資料では、全てではないが、これまでに市へ提案してきた小山地区の意見が反映されている。

⇒○承知した。検討会議で検討された結果は、是非共有していただきたい。

○向陽小学校の児童数が増加しており、教室や学童保育所がキャパシティーオーバーの状況になりつつある。そのため、保育園も重要であるが、向陽小学校の実情も踏まえた上で、まちづくりを進めてほしい。

⇒●タワーマンションの建設により、子育て世代が増えることが見込まれることから、今後、検討会議においてその点に踏まえた議論がされることを期待している。

⇒●役員の中では、子育て世代が安心して働ける環境づくりが必要であるという結論に至り、保育園を挙げた。

その他、委員から意見はなく、本会の方向性（案）について承認された。

(4) その他

○本会議での検討内容について、自治会内でも共有したいと思っているが、資料は提供しても問題ないか。

⇒▲問題ない。

○小山地域包括支援センターでは、以前、クイズを解きながらウォーキングをする「G o T o ウォーキングおやま」を企画し、170名に参加していただいた。現在は、地域の方からトイレとベンチがなく歩きづらいといった声があったことから、マップを作成中である。

最後に、事務局から令和4年度中央区地域活性化事業交付金事業まとめ誌について説明を行った。今年度も報告は行わず、当まとめ誌の配布をもって報告とする旨周知した。

4 閉 会

星副会長のあいさつにより閉会した。

以 上

小山地区まちづくり会議委員出欠席名簿

令和5年7月4日開催

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	入谷 利郎	小山地区自治会連合会	会長	出席
2	加治 左近	宮下自治会		出席
3	徳永 三朗	すすきの自治会		出席
4	本橋 純一	すすきの向陽自治会		出席
5	上田 久美子	向陽町自治会		出席
6	丸山 和加恵	久保原自治会		出席
7	武井 弘吉	自治会法人 氷川町自治会		欠席
8	宇根 浩	相模原駅前自治会		出席
9	福田 雅幸	東第一自治会		出席
10	笠原 昌昭	丸山自治会		出席
11	星 清次	小山公民館	副会長	出席
12	川口 久美	小山公民館		出席
13	長谷川 澄男	小山地区社会福祉協議会	副会長	出席
14	山田 良章	小山地区社会福祉協議会		出席
15	小池 美恵子	小山地区民生委員・児童委員協議会		出席
16	篠崎 則男	小山地区老人クラブ連合会		出席
17	金子 順	青少年健全育成協議会		欠席
18	永山 康雄	防犯指導員		出席
19	加藤 秀子	相模原交通安全協会小山支部		出席
20	大谷 春枝	向陽小学校PTA		出席
21	亀田 浩代	小山中学校PTA		出席
22	中里 和男	相模原西商店街協同組合		出席
23	松橋 真奈美	小山地域包括支援センター		出席